

知床世界遺産センター

■ 冬期開館時間：9:00～16:30 火曜休館
■ Twitter (@shiretoko_whc) 発信中



シロザケの謎

畠の真ん中の道路に頭の無いシロザケが落ちていました。婚姻色がはっきりと出たオスのようです。婚姻色が出ているということは川から来たもの。頭はちぎり取られているようですので、人間ではないと思います。川からは数百mは離れています。誰が道路まで運んだのでしょうか？ワシでしょうか？ヒグマでしょうか？キツネでしょうか？どうして食べずに置き去りにされているのか？謎は深まるばかりです。

(笠井)【11月30日 9°C/-3°C】

知床自然センター

■開館時間 9:00～16:00
■12月休館：毎週水曜日 ■年末年始休館：12/28～1/3
■「知床のデザイン、写真、ことばたち ～もうひとつの知床ブランディング展～」
「Reborn from the sea at Shiretoko 海洋ごみのこれから」
2026年1月25日まで開催中



丸くてかわいい君

さいきんセンターの職員通用口付近でエゾヤチネズミをよくみかけます。小さな枝を手折ってかじる丸いフォルムに心奪われます。こんなにかわいらしい姿ですが、冬に樹皮を食べてしまい、ときに大発生し植林地などに森林被害を与えててしまうため、害獣とされています。1匹が1日にかじる樹皮の量は平均 22～48 cm³とされており、好き嫌いがあるもののほとんどの樹種をかじります。冬眠せずに雪の下にトンネルを掘って暮らしますが、たまに雪の上に見せるその姿をつい探してしまいます。（高畠）【11月22日 5°C/-1°C】

濤沸湖水鳥・湿地センター

■9:00～17:00 開館 ■月曜日休館
■野鳥観察 ■濤沸湖の四季映像（無料）
■資料展示室 ■木道 ■自然情報 ■観光情報
■網走市役所ホームページ内



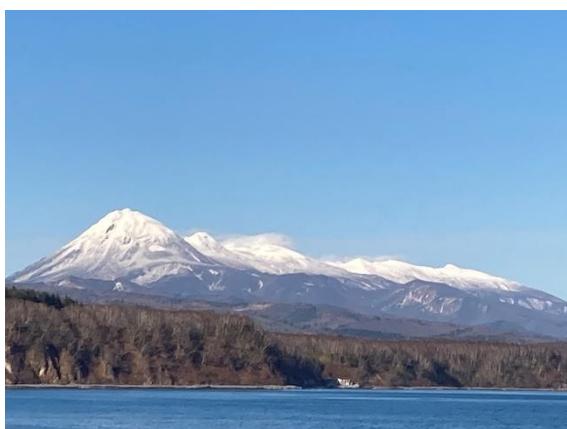
コミミズク、ツクシガモ飛来

コミミズクが例年より早く飛来しました。多い日には3羽が確認されています。エサとなるネズミの数が多ければ、さらなる飛来が期待されます。（写真は過去画像）また、一昨年から飛来が続くツクシガモが、今年もやってきました。昨年と同じように、年末を越してこの場所で過ごしてくれるか注目されます。

【特別展示】 黒澤徹也 「カービング&写真展」
～木に宿るオホツクの息吹～(12月16日～3月13日)
●年末年始の休館日 12月29日(月)～1月3日(土)
(梅津) 【11月26日 5.1°C/4.0°C】

知床羅臼ビジターセンター

- 冬季開館日時：10～16 時開館（10～4月、月曜閉館）
- 特別展示室にて【知床の自然とシマフクロウ】
展示中（10/30～1/24）



初冬の景色

雪に覆われた真っ白な路面を進みながら、町外より羅臼町に帰って来ると、素晴らしい景色が目に飛び込んできます。場所は峯浜パーキング。知床半島の基部に位置する羅臼町の玄関口です。漁業が盛んな羅臼町ですが、この町唯一の酪農エリアが広がっている場所で、雪の帽子を被る知床連山はもちろん、荒く波しぶきを立てる根室海峡、その先の国後島、そしてそこから昇る美しい朝日を眺めることができます。

（渡辺）【11月25日 9°C / 1°C】

春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター

- 開館時間 9:00～16:30 ■休館日：水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌々日）、祝日の翌日。■入館料無料
- 双眼鏡・長靴・クマ鈴無料貸し出しあり ■Free Wi-Fi



その時々の野鳥の動きを楽しもう

11月のある日、この時期の見どころのひとつであるカモメたちが急に姿を消しました。根室半島内の漁港に魚の群れが入り、そちらに移動してしまったようです。自然の変化に合わせて行動を変えるのが野生動物。いなくなってしまったのは残念ですが、予測不能なところも野鳥観察の面白さのひとつです。魚の群れが動けば、また春国岱周辺で姿が見られるようになるでしょう。カモメ類の他、冬鳥のオオワシも姿を見る日が増えています。防寒対策をしっかり行い、野鳥観察を楽しみましょう。

（大久保）【11月22日 4.5°C / 0.9°C】

野付半島 ネイチャーセンター

- 自然情報 ■観光情報 ■遊歩道 ■ギャラリー
- 図書コーナー ■有料ガイドプログラム ■売店
- 書籍（図鑑）販売 ■午前9時～午後4時まで開館



別海町の鳥 ハクチョウ

最近では、野付湾に体が大きく真っ白なオオハクチョウがいます。コハクチョウとともに日本の代表的なハクチョウの一種です。オオハクチョウは、全長140cm、羽を広げると225cmにもなる大きな鳥で、タンチョウと並ぶ日本最大種の野鳥です。尾岱沼周辺は北海道でも有数のハクチョウスポットにもなっているので、ぜひ見に来てください。

（伊藤）【11月24日 9°C / 2°C】

鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ



■ネイチャーセンターは開館中です（10/1～3/30）

午前9時～午後4時00分

■火・水・第1木曜日が休館日です

■バードウォッチング ■各種解説 ■おみやげ

今年の冬鳥は？

5羽ほどのヒヨドリ達が、ツルウメモドキの数少ない実に集まり、我先にと食べていました。今年はナナカマドやハンノキなど鳥たちの食べ物になる木の実、木の種が少ない印象です。

一方で、すでに村内ではミヤマホオジロやキレンジャク、ベニヒワなどの冬鳥が飛来し、当たり年の予感。冬鳥達は餌が少なく大変でしょうが、できるだけゆっくり過ごしていってもらいたいものです。

（石下）【11月22日 5.1°C/-2.4°C】

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター



■湿原観察 ■野鳥観察 ■自然情報 ■館内案内

■周辺観光情報 ■自然ふれあい行事

※開館時間（11～3月）午前9時～午後4時

ご機嫌？なカケス

昨年はまったく見かけなかったカケス（亞種ミヤマカケス）が今年はよく見かけます。丘陵地の水辺で採餌していて、温根内周辺に少なくとも3個体はいます。カエルなどを食べているのでしょうか。他の鳥の声真似をしている時もあり、愛嬌があります。

～木道改修工事のお知らせ～

現在、木道の改修工事を行っています。一部区間が通行できませんのでご了承ください。

（藤原）【11月26日 4.3°C/0.7°C】

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター



■湿原の自然情報や映像設備（湿原の詩・釧路湿原国立公園誕生までの2本立て） ■自然ふれあい行事

※開館時間（11月～3月）午前10時～午後4時

◎入館料 無料

11月下旬にツバメ？！

塘路湖畔では冬鳥が集まっていますが不可解な鳥がきていますことがあります。夏鳥のはずのアオサギは例年凍った塘路湖上に集まっているのですが、ここ数年はダイサギなんかも増えている気がします。この時期の水鳥はオオハクチョウ、カワアイサ、ミコアイサ、カワウ、ユリカモメ、オオバン、あとは小型のカモ類といったところです。ところがここ数日はセンターの周りをツバメが飛び回っており困惑しております。渡りが遅れているのでしょうか？！

（高橋）【11月24日 11°C-1.0°C】

厚岸水鳥観察館

■8:45～17:00 開館 ■オジロワシ・オオハクチョウ
■展望室（望遠鏡があります！） ■生映像の大型スクリーン ■自然情報



冬の鳥たち

11月に入って町内でもオオワシが見られるようになりましたが、まだ数は多くなっていません。冬の小鳥もマヒワやアトリ、少し珍しいものだとオオマシコが見られましたが、群れでいるのを見ることが少なく、全体的に数が少ない印象です。12月に入ってどうなるでしょうか。

カケス（亜種ミヤマカケス）は数が多いようで、森に入っても、市街地でも姿を見ることができます。

(古巻) 11月27日 7.0°C / 1.9°C

霧多布湿原センター

■9:30～16:00 開館 10月～4月火曜休館
■展望カフェ ■エコツアーアム ■ミュージアムショップ
■双眼鏡・長靴・レインウェア・熊鈴 レンタルあり
■www.kiritappu.or.jp/center/



重そう

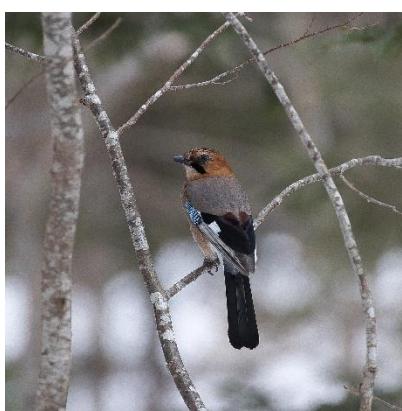
霧多布湿原にも雪が降り始め、いよいよ冬が来たという感じがします。

霧多布湿原センターでは、センサーを設置して動物たちの様子を観察しています。今回は、冬に向けた準備が万全なエゾタヌキ姿が見られました。道路にも飛び出しますが、体重が増えているせいか、よけるのにも一苦労している様子。運転の際はどうぞお気を付けてください。

(越智) 【11月25日 9°C / 0°C】

ノンノの森ネイチャーセンター (津別町)

■10:00～16:00・木曜日休館
■体験プログラム・ガイド受付 ■カフェ
■自然情報 ■周辺観光情報
■<https://www.nonnonomori.com>



森で目を引く青いアクセント

来館者の方から「羽に青色が入った鳥を見ましたが、何の鳥ですか？」という質問をいただくことがあります。

その特徴に当てはまるのが、カケス（ミヤマカケス）です。ハトくらいの大きさで、小鳥ほど動きが素早くないため観察しやすい鳥です。

最近は、ネイチャーセンターの敷地内にも姿を見てくれるがあります、タイミングが合えば間近でその美しい羽色を見ることができます。

(南) 【11月27日 4.4°C / -0.1°C】

阿寒国際ツルセンター

■野外飼育場・展示室 ■ギフトショップ
ビオトープ散策



冬

あちこちで雪の便りが聞かれていますが、釧路地方には雪はありません。ただ、冷え込みは強く朝は氷点下となりました。

すっかり夏鳥は去り、冬鳥が出揃いつつあります。タンチョウも周辺の畠ではよく見かけますが、給餌が始まっていないので給餌場に飛来するのは縄張りしている家族のみ。給餌が始まるのは12月上旬を予定しています。賑やかな季節が始まりますね。

【ミキ】11月26日 5.6°C/-4.9°C

川湯 ビジターセンター

■自然情報 ■観光情報 ■川湯 eco 文庫
■開館時間 9:00~16:00 毎週水曜休館
年末年始 (12/29~1/3) 休館
■2F 「CAFÉ SOFTWOOD」 11:00~15:00



凍れる川湯の冬

晴れた日は-10°C近くまで冷え込むようになってきた川湯。カルデラ地形により夜間に冷えた空気が逃げにくい川湯は極寒地としても知られ、いち早く霧氷などの自然現象に出会うことができます。硫黄山の噴気や温泉街の湯煙も目立ってきました。温泉街に湧き出る強酸性の硫黄泉は、摩周湖の伏流水を含む地下水が硫黄山の地熱で温められたもの。温泉の源とも言える硫黄山へと続く、つつじヶ原自然探勝路の散策後に入る温泉は格別です！

(片野) 【11月20日 6°C/-9°C】

道立青少年体験活動支援施設 ネイパル北見（常呂町）

■9:00~17:30 開館 ■休館なし（臨時休業日あり）
■野鳥観察（双眼鏡） ■周辺の動植物パネル展示
■創作体験 ■自然情報 ■観光情報
■<http://napal-kitami-hokkaido.jp/>



何匹いるかな？

あっという間にやってきた冬。
まだ体が慣れていないこの時期の寒さは真冬よりつらく感じます。

利用団体も落ち着いてすっかりさみしくなったネイパルの庭では鹿の大移動。
こんなに厳しい寒さの中でも野生動物はたくましく生きているのだと改めて感じました。

あと夜、車道に飛び出してくるのはやめてね。

(寺崎) 【11月21日 7°C/-3°C】